

[令和6年度事務事業]

I. 基本情報									
事業の位置付け									
1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～		施策	(2)子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	
			有	取組の方向性	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		目標値	—	
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに		ターゲット	4.7	
			有	取組	英語教育、多文化理解の促進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		目標値	—	
2	関連計画			堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン					
3	事業開始年度			昭和 62 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4	実施根拠			教育基本法、学習指導要領					
事業の概要									
5	事業の実施主体			本庁					
6	事業の対象			市立小・中・高等学校の児童生徒				対象数	単位
								59,700	人
7	事業の目的			児童生徒がネイティブ・スピーカー等との交流を通して、外国の人々や文化に興味・関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする機会を設け、英語を使ったコミュニケーション能力の基礎を養うことを目的とする。					
8	事業内容			・市立小・中・高等学校にネイティブ・スピーカーを配置 ・小学校教員及び中・高校英語教員の英語力及び英語指導力向上にかかる研修を実施 ・中学校においてオンライン英会話を実施 ・英語教育の専門性をもつ非常勤講師を小学校に配置					
	※国・府の基準より上回って実施した内容			中学校2年生でのオンライン英会話の実施					
9	主な支出先			委託業者					
10	公民連携・協働事業			—					

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	英検3級程度の力を有する生徒の割合	%		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
			目標値	60	60	62	62
			実績値	58	60		
			達成率	96%	100%		
	当該指標を選定した理由		義務教育9年間における英語教育実施の成果を測る指標として適当であると考えられるため				
目標値の設定根拠・算出方法		英語教育実施状況調査（中学3年生）					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	英語の授業はよくわかって答える生徒の割合	%		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	78	79	80	
			実績値	79	80		
			達成率	100%	101%		
	当該指標を選定した理由		全市的な英語教育の実態を客観的に把握できる指標である。				
目標値の設定根拠・算出方法		本市児童生徒学習・生活状況調査（中学1・2年生）					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	英語教育推進事業	事業番号	038-032
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	188,085	188,151	4,394	188,358	207,702
	財 国支出金	1,676	3,236	4,394	4,063	4,394
	源 府支出金	0	0			
	内 市債	0	0			
	訳 その他（子ども教育ゆめ基金繰入金）	0	0		110,000	203,308
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0			
	一般財源	186,409	184,915		74,295	0
14	人件費（b）	4,920	4,860	4,860	4,860	5,040
15	年間経費（c）=(a)+(b)	193,005	193,011	9,254	193,218	212,742

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	R7				R6	R7		
16	事業費内訳	堺市英語教育に関する人材派遣業務委託料	R6 決算	138,367	28,367	会計年度任用職員通勤費等旅費	R6 決算		777	552
			R7 予算	155,762	0		R7 予算		1,034	0
		堺市中学校オンライン英会話委託業務委託料【拡充】	R6 決算	33,611	33,611	研究指定校消耗品費	R6 決算		98	98
			R7 予算	33,783	0		R7 予算		85	0
		委託業務事業者選定専門家等報償費	R6 決算	87	87	研究指定校印刷製本費	R6 決算		18	18
			R7 予算	312	0		R7 予算		0	0
		委託業務事業者選定委員会会場等借上料	R6 決算	95	95		R6 決算			
			R7 予算	100	0		R7 予算			
		会計年度任用職員報酬	R6 決算	15,305	11,467		R6 決算			
			R7 予算	16,626	0		R7 予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和5年度	令和6年度
	①	英検3級程度の力を有する生徒数	人	3,966	4,067
	②	上記①にかかる年間経費	千円	188,151	193,218
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	47,441	47,509
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18		・成果指標は、一昨年度より上昇し、達成率も100%となった。一人でも多くの児童生徒が英語を学ぶことに関心を持ち、豊かな英語力を身に付けることができるよう、教員の指導力向上に係る取組を今後も引き続き推進する。また、ネイティブ・スピーカーやオンライン英会話の効果的な活用をより一層進める必要がある。
		・活動指標においても、達成率100%を超える結果となった。引き続き、教員向け研修を充実させ、授業の質を向上させることにより、英語の授業における生徒の理解を深め、英語を使ってコミュニケーションを図ることへの自信へと繋げていく。
		・教員向け研修やオンライン英会話の実施により、生徒一人ひとりが英語で話す機会が増加している。その結果、相手や自分の思いを伝えあうことにより、英語による会話への自信をつけることができ、会話すること自体の抵抗感を少なくすることができている。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19		・ネイティブ・スピーカーの年間での配置やオンライン英会話の効果的な実施、授業改善に向けた研修の実施により外国語教育の充実が図られることで、児童生徒に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や語学力が養われることから、第3期未来をつくる堺教育プランの基本施策2「グローバルに活躍できる力の育成」に寄与している。
		・早期より英語に慣れ親しみ、外国語でのコミュニケーション能力を育むことで、本市の児童生徒の総合的な学力向上の育成に寄与している。